プログラムしてみよう！！

＜命令文＞　これさえわかればプログラムはできる！！

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| キーボードからの入力を促す | kazu=parseInt(prompt("あなたの好きな数字を入力してください")); | “　”（ダブルクォーテーションで囲まれた文字をディスプレイに表示する。  入力された数字をkazuに格納（代入）する。 |
| 出力する | document.write(kazu,"はあなたの好きな数字ですね？”); | Kazuに格納されている数字と“”の間の文字列をディスプレイに表示する。 |
| 条件分岐 | if(ans==0){  document.write("偶数");  }else{  document.write("奇数");  } | もし　ansという変数が０ならば  偶数とディスプレイに表示する。  そうでなければ  奇数と表示する |
| 場合分け | switch (ans) {  case 1:  alert("●");  break;  case 2:  alert("×");  break;  case 3:  alert("▽");  break;  case 4:  alert("■");  break;  default:  alert("◎");  break;  } | もし　ansに格納されている値が  １ならば　●を表示する  （そしてこのルーチンを出る）  ２ならば　×を表示する  （そしてこのルーチンを出る）  ３ならば　▽を表示する  （そしてこのルーチンを出る）  ４ならば　■を表示する  （そしてこのルーチンを出る）  それ以外ならば　◎を表示する  （そしてこのルーチンをでる） |
| 繰り返し | for(c=0;c<10;c++){  処理１  } | ｃ＝０のときからｃ＜１０までの間  （１０回）　処理１行って  処理を行う度に　ｃを１ずつ増やす |
| ある条件をクリアしたらfor文（繰り返し）から抜ける | for (初期化式; 条件式; 変化式){  if (条件式){  break;  }  } |  |
| 代入する | ｓ=１ | 変数ｓに１を代入する |
| 比較する | ｓ==1 | Sは１である |